

ミニミニマイズ ~博物館だより~

平成20年8月19日 第160号

前期企画展開催中!

平成20年度前期企画展「秋田の化石」が7月26日(土)から始まりました。開催に先駆けて前日の25日には前披露が行われ、佐藤館長による解説がありました。また、8月9日(土)には講師に国立科学博物館から植村和彦先生を迎え、「秋田の植物化石」という演題で講演をしていただきました。両日とも、吉村学長をはじめ多くの方が来館されました。講演会の内容について博物館実習生の東洋英和女学院大学3年田口佳奈さんにレポートを下記のとおりまとめてもらいました。



↑佐藤館長(右)から説明を受ける吉村学長(左)と西田工学資源学部長(中央)

平成20年度 前期企画展【秋田の植物化石】の講演会を聴講して

博物館実習生 田口佳奈

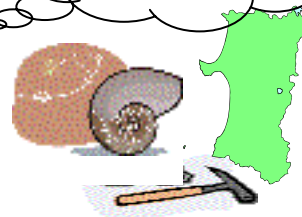
8月9日(土)に国立科学博物館から植村和彦博士を招いて、秋田の植物化石をテーマに化石が語る秋田の古環境の講演会が開催されました。当日、会場にはたくさんの方が聴講しに来館していました。

植村先生は秋田県の植物化石は興味深く注目される化石だとおっしゃっていました。秋田県は時代毎に特徴ある植物群が繁茂していました。また、秋田県では阿仁合型植物群と台島型植物群の両方が見られるため珍しいとのことでした。

植物化石を見ることによって当時の環境、気候、地域の様子を知る手がかりになるそうです。今回、先生のお話を聞いて、私は約2000万年前、日本はまだアジア大陸の一部だったこと、気候区分は温帯だったこと、そして約1600万年前は日本海ができてはじめて南から暖流が流れてさらに暖かくなっていたことなど、かなり興味深いことを学ぶことができました。



みなさん真剣に植村先生の話を聞いています



まだまだ知らない秋田の歴史や新しい魅力を、化石を通して発見できます。

秋田の植物化石について興味がある方、そうでない方も講演会は終わってしまいましたが、実物の化石も展示しておりますので、8月24日(日)まで実施されている前期企画展の展示場に、ぜひいらしてください。



ジュニアサイエンススクール

8月1日(金)～2日(土)、毎年恒例のジュニアサイエンススクールが開催されました。今年は「河原の石から大地の成り立ちを探ろう」というテーマで実地学習や標本整理等を行いました。当日の様をタイムスケジュールに沿って紹介いたします。

一日目

- 8:30～ 博物館集合、開校式を行う。子どもたちは緊張した様子。
開校式終了後、事前学習会を行う。
- 10:00～ バスで岩見三内へ向かう。あいにく道中は雨。
しかし、岩見川の河原に着く頃には雨が上がり一同ほっとする。
- 10:30～ グループ毎に岩石採集。はじめは汚れることを躊躇していた参加者もいつの間にか川に入って夢中でお気に入りの石を探す。
- 12:00～ グループメンバーやボランティアスタッフらと和やかに昼食。
- 13:00～ 岩見川と三内川の合流地点を確認後、三内川の岩石採集を行う。
- 14:30～ 岩見ダム見学後、帰路に着く。
- 16:00～ 博物館に到着。



↑ 岩石採集風景 (岩見川の河原)



↑ 顕微鏡観察をする参加者達



↑ 地質図を説明する鉱業博物館の西川講師

二日目

- 9:00～ 前日に採集した岩石の標本整理をする。
(カットした石の研磨、岩石のプレパラート作り、
石の体積を測定し密度を求める、など)
- 13:00～ 一時間の昼休み後、学習のまとめと作文に取り掛かる。出来上がった岩石のプレパラートを顕微鏡で観察する。
- 15:00～ 修了証書授与、閉校式

編集後記

☆当館の大きな行事の一つであるジュニアサイエンススクールを今年も無事に終えることができました。サイエンスボランティアおよび学生ボランティアの皆さんの協力があったからこそ成功だったと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

☆8月6日から12日まで東洋英和女学院大学3年の田口佳奈さんが博物館実習にやってきました。一週間という短い期間でしたが、今号の講演会の記事を書いたりホームページのコーナーを増設したりするなど博物館業務をいろいろと体験してもらいました。当館で学んだことを活かして今後もがんばって欲しいと思います。

